

株式会社Voice殿 新人研修計画

1. 研修の対象
2. 研修の目的
3. 研修の範囲
4. 研修の進め方
5. 研修のコンテンツ
6. 研修のスケジュール
7. 研修の成果確認とフォロー

30th Mar.2020
Created by
TTS Hasegawa

1. 研修の対象(五十音順)

- ①飯坂 士穂さん
- ②宮崎 恵介さん
- ③山根 景子さん

2. 研修の目的

<講師の思い>

自分の知見を伝えることによって、受講生がこれから使う時間を節約して欲しい。

<目的>

◆ Voice殿向け

研修の受講生を適所に配置するために、育成時間を短縮する

◆ 個人向け

これからソフトウェア、システム開発、サービス提案に携わる前に、将来目指す姿のいくつかの“選択肢”を示して、そこに待ち受ける苦難の場면을前もって紹介し、それを切り抜けるための術の一部を知識として伝授しつつ、知恵を養っていただく。

3. 研修の範囲

<ヒューマンスキルの向上>

- ・思考パターン・マインドセットの磨き方を紹介します

<IT業界の理解>

- ・本研修ではプログラミング研修は行いません。
- ・ソフトウェア開発業務に就く前に、知っておくべき事項について紹介します

<ポジションの理解>

- ・営業、企画、コンサル、ソフトウェア開発、インストール、サービスの紹介をします

<ソフトウェア開発工程の理解>

- ・要件定義、アーキテクチャ設計、設計、製造、テスト、インストール、保守の概要を紹介します
- ・プロセスの必要性、種類を説きます
- ・ツールの必要性を説きます
- ・具体的な例を示し、時には演習をしてもらいます









4. 研修の進め方

- 資料を提示します。伝えたい事はすべてそこに書きます、書いてない事は話しません。
- 話す内容の理解をしやすいするために、実例を示します。
- メモは取ってください。ただしキーワードだけです。
- 課題という形の宿題はありません。ただし研修中は頭をフル回転させてください。
- 毎日、辻村さんに授業の感想を伝えて下さい。短くてもOK。印象でも良いです。
後で辻村さんから私が尋ねます。
- 双方向コミュニケーションの研修です。
- 常に研修生の反応を研修内容にフィードバックします。
- 時には演習をします。

5. 研修のコンテンツ

T.B.D

5. 研修のスケジュール

	1 日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
面談、自己紹介												
マインド 思考パターン												
選択肢の紹介												
ソフトウェア開発 概要												
ソフトウェア開発 詳細												
まとめ												
演習												
おさらい												
リクエスト	研修終了直後ないしは現場経験後に実施											
予備												

7. 研修の成果確認とフォロー

-研修終了後に目的を果たしたかどうか確認します。

研修生が本研修によって、

①現場に入る前に、心構え(※)ができること

②現場の実経験したときに、研修を思い出して既視感を持つこと

※仕事内容の俯瞰ができて、安心して業務に就ける

-開発現場に入った後に、研修の成果が役に立ったかどうかを確認します。